

令和7年産 果樹病害虫防除暦・施肥例

使わない!! 無登録(登録外使用)農薬
海草振興局農林水産振興部
農業水産振興課監修
令和6年12月現在

温州みかん・かんきつ類

みかんとかんきつ類は登録内容が異なる場合がありますので注意!!

防除時期	対象病害虫	防除薬剤名	使用倍数	使用基準		備考
				みかん	かんきつ	
3月中下旬	ミカンハダニ ヤノネカイガラムシ	マシン油乳剤(97%)	80倍	3月/—		発芽前に散布する。 ミカンハダニを対象とする場合は80倍。 中晩柑類は収穫後に散布する。
		アブロード水和剤	1,000倍	14/3	45/3	
4月	そうか病	デランフロアブル	1,000倍	30/3		シャクトリムシ類・ケシキスイ類発生園では、ロディー乳剤2,000倍(7/4)を散布する。
満開期～ 落弁期	灰色かび病 黒点病 コアオハナムグリ アブラムシ類	ナティーボフロアブル	1,500倍	前日/3		昨年カイガラムシ類が発生した園地では、モベントフロアブル2,000倍(7/3)を加用する。
		モスピラン顆粒水溶剤	3,000倍	14/3		
6月上中旬	黒点病 ミカンハダニ ゴマダラカミキリ チャノキイロアザミウマ	エムダイファー水和剤	600倍	60/2	90/2	株元にも十分散布する。
		マシン油乳剤(97%) または ダニコングフロアブル	200倍 4,000倍	—/— 前日/1		
		アドマイヤーフロアブル	3,000倍	14/3		
7月上旬	黒点病 チャノホコリダニ ミカンサビダニ ゴマダラカミキリ	ジマンダイセン水和剤 または ベンコゼブ水和剤	600倍	30/4	90/4	カイガラムシ類発生園では、トランスフォームフロアブル2,000倍(前日/3)を散布する。
		グレーシアフロアブル	4,000倍	7/2		
8月上旬	黒点病 アザミウマ類・チャノホコリダニ ミカンハダニ・サビダニ	ジマンダイセン水和剤 または ベンコゼブ水和剤	600倍	30/4	90/4	サンホーゼカイガラムシ発生園では、コルト顆粒水和剤2,000倍(前日/3)を加用する。 ※ハダニ発生園では、アグリメックの替わりにメビウスフロアブル3,000倍(7/2)を加用する。 ※かんきつ類は14/2の使用なので注意する。
		アグリメック	2,000倍	7/3		
8月中下旬	黒点病 ミカンハダニ ミカンサビダニ アザミウマ類	ジマンダイセン水和剤 または ベンコゼブ水和剤 または ナティーボフロアブル	600倍 1,500倍	30/4	90/4	※9月出荷の品種については、ナティーボフロアブル1,500倍を散布する。 ※発生初期に防除を行う。
		ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日/1		
		ダントツ水溶剤	2,000倍	前日/3		
9月以降	黒点病 カメムシ	ナティーボフロアブル	1,500倍	前日/3	前日/3	※降雨状況により散布する。 ※発生に応じて散布する。
		スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日/3		
収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤 または トップジンM水和剤	4,000倍 2,000倍	前日/4	前日/2	※収穫前に必ず散布する。
果皮障害	防除薬剤に加用	バイカルティ	1,000倍	—/3		6～9月の防除薬剤に加用する。

特殊防除

防除時期	対象病害虫	防除薬剤名	薬量と散布量	使用基準	備考		
発芽前	かしよう病	ムッシュボルドーDF	500倍	—/—			
新梢伸長期	かしよう病	クプロシールド	1,000倍	—/—	薬害軽減対策としてクレフノン200倍を加用する。		
入梅期	かしよう病	ICボルドー66D	80倍	—/—	ICボルドー66Dの変えてムッシュボルドーDF1,000倍を散布してもよい。 ただし、クレフノン200倍を加用する。		
		アピオンE加用	1,000倍	—/—			
台風襲来前	かしよう病	クプロシールド	1,000倍	—/—	クレフノン200倍を加用する。		
発芽直後	そうか病	デランフロアブル	1,000倍	30/3			
8月～9月	後期黒点病	ナティーボフロアブル	1,500倍	前日/3			
発生前	褐色腐敗病	ランマンフロアブル	2,000倍	前日/3			
		レーバスフロアブル	2,000倍	前日/3			
5月下旬～	カイガラムシ類	モベントフロアブル	2,000倍	7/3			
発生時	ハマキムシ類 ヨモギエダシヤク	エクシレルSE	5,000倍	前日/3			
		ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4,000倍	前日/1		
		ミカンハダニ	ダニサラバフロアブル	2,000倍	前日/2		
		ミカンハダニ	オマイト水和剤	750倍	7/2	14/2	※10月中旬以降で使用する。
		ミカンハダニ	メビウスフロアブル	3,000倍	7/2	14/2	
7月中下旬 (株元散布)	ゴマダラカミキリ	アクセルフロアブル	200倍	7/3			
		モスピラン顆粒水溶剤	200～400倍	14/3			

施肥設計

樹種	施肥時期	10a当り成分量(kg)			
		N	P	K	
極早生温州	1～3月	3月上旬	14.4	12.6	12.6
		10月上旬	16.0	10.0	12.0
	3月上旬	20.8	18.2	18.2	
		21.6	13.5	16.2	

※土壌改良は毎年励行しよう。
※土壌改良として、完熟堆肥 2,000kg、または、新ふりかけ堆肥eco 200kgを施用、微量要素補給に10a当りFTE 2kg・BMヨーリン 60kg

柿

富有柿は人工授粉を徹底!

防除時期	対象病害虫名	防除薬剤名	使用倍数	使用基準	備考
萌芽直前 (3月下旬)	カイガラムシ類	アブロード水和剤 アピオンE	1,000倍 1,000倍	45/2 —/—	
展葉期 (4月中旬)	ケムシ類 ヒメコスカシバ フタモンマダラメイガ	フェニックスフロアブル	4,000倍	7/2	展葉初期にケムシ類発生園では、フェニックスフロアブルに替えてオリオン水和剤40 1,000倍(21/1)を散布する。
開花初期 (5月上中旬)	落葉病・炭そ病 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ ハダニ類	ジマンダイセン水和剤 または ベンコゼブ水和剤	600倍	45/2	灰色カビ病多発園では、ベンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤に替えてフルーツセイバー 1,500倍(前日/3)を散布する。 夏果実隣接園では薬剤が飛散しないように注意する。
		オルトラン水和剤	1,500倍	45/2	
5月下旬～ 6月上旬	うどんこ病・落葉病・炭そ病・灰色カビ病 アザミウマ類・カンザワハダニ	オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	2,000倍 2,000倍	前日/3 14/2	果実黒変果軽減のため、バイカルティ1,000倍を混用散布する。
6月中下旬	落葉病・炭そ病 カイガラムシ・チャノキイロアザミウマ	ジマンダイセン水和剤 または ベンコゼブ水和剤	600倍	45/2	前日/3
		コルト顆粒水和剤	2,000倍	前日/3	
7月上旬	落葉病・炭そ病 カイガラムシ類 アザミウマ類	エムダイファー水和剤	600倍	45/2	前日/3
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日/3	
7月下旬～ 8月上旬	うどんこ病・落葉病・炭そ病 アザミウマ類・カメムシ類 カキノヘタムシガ・ケムシ類	スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日/3	前日/3
		キックオフ顆粒水和剤	2,000倍	前日/3	
8月下旬～ 9月上旬	うどんこ病・炭そ病 アザミウマ類・カメムシ類 カキノヘタムシガ	ベンレート水和剤	2,000倍	前日/6	前日/3
		アグロスリン水和剤	1,500倍	前日/3	
果皮障害対策	6月以降の薬剤に混用	バイカルティ(カルシウム肥料)	1,000倍	—/3	

標準施肥例

施肥時期	10a当り成分量(kg)			備考
	N	P	K	
1～3月	16.8	8.4	8.4	毎年励行しよう。 土壌改良は、樹勢に応じた。土壌改良は、樹勢に応じた。
3月上旬	16.8	8.4	8.4	
9月下旬～10月中旬	16.8	8.4	8.4	

※土壌改良として、完熟堆肥 2,000kg、または、新ふりかけ堆肥eco 200kgを施用。

梅(南高)

古城・小梅は収穫前日数に注意!

防除時期	対象病害虫名	防除薬剤名	使用倍数	使用基準	備考
12月	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	発芽前/—	
1月中旬	灰星病 ノコメトガリキリガシ (ハナム)	ベルコート水和剤	2,000倍	30/3	
		サムコルフロアブル10	5,000倍	14/3	
落弁期 (3月中下旬)	かしよう病 灰色かび病 アブラムシ類	Zボルドー	500倍	前日/2	Zボルドーにはクレフノン200倍を加用する。 ICボルドー66Dを使用する場合は、ナティーボフロアブルと7～10日の間隔をあけて散布する。
		ナティーボフロアブル	2,000倍	前日/2	
発芽期 (4月上旬)	かしよう病 黒星病 カイガラムシ類 (展着剤)	マイコシールド	1,500倍	21/4	—/—
		デランフロアブル	2,000倍	14/2	
幼果期 (4月中旬)	かしよう病 黒星病	アブロードフロアブル	1,000倍	7/2	—/—
		アピオンE	1,000倍	—/—	
肥大型 4月下旬～ 5月上旬	かしよう病 黒星病・すす斑病	マイコシールド	1,500倍	21/4	21/3
		オーソサイド水和剤80	800倍	21/3	
肥大型 (5月中下旬)	黒星病・すす斑病 ケムシ類・コスカンバ	スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日/3	カイガラムシ類発生園では、モベントフロアブル2,000倍(7/3)を加用する。
		ナティーボフロアブル	2,000倍	前日/2	
5月下旬～ 収穫前	すす斑病	フェニックスフロアブル	4,000倍	前日/2	ハダニ類発生園では、スターマイトフロアブル2,000倍(前日/1)を加用する。
		インダーフロアブル	5,000倍	前日/2	
		または スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日/3	

標準施肥例

施肥時期	10a当り成分量(kg)			備考
	N	P	K	
4月下旬	18.0	9.0	9.0	毎年励行しよう。 土壌改良は、樹勢に応じた。
7月上旬	18.0	9.0	9.0	
10月上旬	18.0	9.0	9.0	
11～12月	18.0	9.0	9.0	

※土壌改良として、完熟堆肥 2,000kg、または、新ふりかけ堆肥eco 200kgを施用、微量要素補給に10a当りFTE 6kg。

希釈倍数表

倍数	10	50	60	80	100	150	200	300	500	600	800	1,000	1,500	2,000	3,000	4,000
水18ℓ当り薬量(g、ml)	1,800	360	300	225	180	120	90	60	36	30	22	18	12	9	6	4
水100ℓ当り薬量(g、ml)	10,000	2,000	1,666	1,250	1,000	666	500	333	200	166	125	100	66	50	33	25

防除記録簿例

住所: _____ 氏名: _____

作物: _____ 圃場名: _____ 面積: _____ a

防除月日	使用薬剤名・使用濃度(倍)	散布量(ℓ)
(例) 6/25	ジマンダイセン水和剤 (600倍)	750ℓ

○除草剤・植物生育調節剤の記入も忘れずに!

農薬(毒物・劇物)の購入には必ず印鑑を!

農薬散布は、必ずマスク・防除衣を着用しよう!!

防除の際は飛散(ドリフト)に注意しよう!! 防除記録は必ず記録しよう!!



○農薬の使用基準は変更になる場合がありますので注意しましょう。
○農薬使用基準を守り、適期適正防除を行いましょう。